



▲図書委員が文とイラストで本を紹介







学校司書 吉田紀子さん

◀▼本を紹介する カラフルなポップ

田小学校







図書委員は、本を貸し出す手続きを したり、お薦めの本をポスターなどで 紹介したりしています。学校図書館に 来てくれるみんなも本の良さを広めて くれるので、愛甲小はたくさんの人が

今回、受賞できてとてもうれしいで す。これからもたくさんの本を読み、

いろいろな人たちに本を読んでもらえ

本を借りに来てくれます。

るように頑張りたいです。

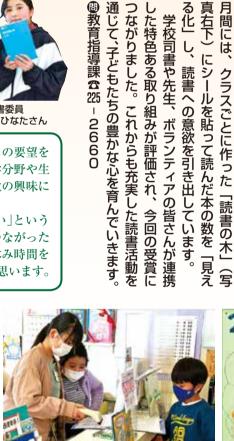


令和2年度図書委員 神村朔奈さん 小西ひなたさん



図書館の本は、子どもの反応や先生たちの要望を 把握して選んでいます。愛甲小では、科学分野や生 活に役立つ本が人気なので、得た知識が次の興味に つながるような本選びを心掛けています。

「面白い本を読んでもらいたい。広めたい」という 図書委員のみんなの情熱が今回の受賞につながった のだと思います。これからも協力して、休み時間を リフレッシュできるひとときにできたらと思います。



母教育指導課☎25-2660





実践校」として、文部科学大臣表彰に輝きました。愛甲小学校が「令和3年度子供の読書活動優秀

作りのポスターやポップが飾られています。読書

ちの活動が盛んで、館内や廊下の掲示板には、

の活動が盛んで、館内や廊下の掲示板には、手学校図書館では、図書委員会を中心に子どもた

平成28年度に、市内で初めて子供の読書活 動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受け ました。学校図書館では、特に二つの役割を 大切にして活動しています。

豊かな読書経験の場

季節感あふれる展示や、図書委員の 読書の輪を広げる活動、読み聞かせ ボランティア「にじのとびら」の活 動が、本との出合いをサポート

情報ステーション

メディアが伝える情報を見極める 力を育むため、子どもが読みやす い形で新聞を展示。調べ学習の授 業で図鑑、事典などの資料を提供

廊下の壁に掲示されている新聞

学校が取り組むインターナショ ナルセーフスクールのコーナー

図書委員がパソコンを使った本の貸し出し方法を確認

睦合東中学校

市内の中学校で毎年10月ごろに行われる 読書週間において、貸出冊数トップクラスの 睦合東中学校。唯一、中学校で図書館業務に パソコンを活用しています。

学校図書館の取り組み

- ①貸出業務、データ集計、蔵書点 検などにパソコンを活用
- ②図書委員が図書館だよりでお薦 めの本を紹介
- ③図書委員が金曜のお昼の放送で 読み聞かせ
- ④読書週間に手作りのブックカ バーをプレゼント
- ⑤貸出冊数を競う読書マラソン

教育委員会だより Edu Navi 広報あつぎへの折り込みの他、市役所、アミューあつぎ、駅連絡所、公民館、中央図書館、保健福祉センターなどに設置

お気に入りの本に出合える学校図書館

への対応も迫られています。

解決していく力が極めて重要です。

圓教育総務課☎225-2663

教育委員会では、これからの時代にふさわし

い教育を実現するために、計画を策定しました。

前計画から基本理念を継承するとともに、新た

な基本目標として「挑戦」「共生」「創造」を掲げ、

教育振興に取り組んでいきます。

現在は、グローバル化や技術革新など、予測を 超えて社会の変化が進展しています。さらに、こ れからは少子化の継続、人生100年時代の到来、

自然災害の猛威、感染症の克服など、新しい課題

こうした予測困難な時代を生き抜くためには、 定型的な問題を効率的に解ける力を育成するだけ では足りません。自ら課題を見つけ、主体的に学 び、考え、判断し、他者と協働しながら粘り強く

計画では、その力の基礎となる「自分づくり」 「仲間づくり」「社会づくり」の力の育成を基本目 標に掲げています。さらに、教育活動の前提とな る「安心」と「協働」を目に見える形で位置付け たことで、厚木らしい計画になったと思います。

計画は、策定した後が勝負です。教育委員会は、 教育の場にしっかりと目を向け、いかに実行して いくかに力を注いでほしいと思います。



第2次教育振興基本計画 策定委員会委員長 横田宗一郎さん (前南毛利小学校長)

令和3年度からスタート

未来を担う人づくり 基本理念

教育のあるべき姿を表わしたものです。〔計画期間12年〕

3つの基本目標

施策の方向性

解消

未来を担う人として育てていきたい力 を表したものです。(計画期間12年)

対化単戊(自分づくり)

自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や 可能性に挑み続ける力の育成

共生(仲間づくり)

自他の命や豊かな感性を大切にし、多様 性を認めながら共に生きていく力の育成

創造(社会づくり)

変化する社会に自ら進んで関わり、人々 と協働してより良い社会を創る力の育成



4 安心して共に学べる 教育の推進

施策の方向性

- ○インクルーシブ教育・特別支援 教育の推進
- ●保護者への経済的支援
- ●不登校やいじめなどの悩みに対 する相談体制の充実
- ●人権教育の推進

これ一ツ活動の推進

施策の方向性

- ●スポーツ教室・イベントの開催 ●競技力向上・競技団体の育成

- ●指導者・ボランティアの育成 ●スポーツ施設の整備・充実





PICK UP

GIGAスクール構想を推進

児童・生徒に1人1台の学習用端末を整備。調 ベ学習、グループ活動、技能教科での動画撮影な どで活用し、情報活用能力や学びに向かう主体性 思考力・判断力・表現力な

どを育成します。 目指し、GIGAステップア 置、研修などに取り組みま



| 家庭・地域・学校の協働の推進

施策の方向性

●コミュニティ・スクールの推進 ●地域学校協働活動のための体制整備

自立につながる

●豊かな心・健やかな体を育む

道徳教育・読書活動・食育の

施策の方向性

●英語教育の推進

●確かな学力の育成 ●情報通信機器の活用支援

「生きる力」の育成

- ●地域ぐるみでの家庭教育の支援 ●放課後などの安全な居場所づくり



子どものために 地域と学校が協働

計画を支える「安心」と「協働」



支援員が子どもの



地域主体で取りる 社会教育の振興 地域主体で取り組む

2 子どもたちを育てる 支援体制の充実

●教職員の多忙化や長時間勤務の

●研修などを通じた教職員の資

●支援員や講師などの配置

質・能力の向上

8つの基本方針

施策の方向性

- ●学級・講座の充実
- ●地域の文化・スポーツの振興
- ●住民同士の交流促進
- 公民館の整備・改修



基本理念と基本目標を実現するための

具体的な取組方針です。(計画期間6年)

施策の方向性

再整備

●見守り体制の推進

- ●郷土芸能の継承・発展 ●博物館の機能を生かした資料
- の収集、研究、展示など地域の宝を
- ●新たな図書館の整備 ●電子図書館の開設





家庭・地域・学校の協働による特色ある 学校づくりと地域づくりの推進

読書活動を

教育振興基本計 画が掲げる目標を 実現するための具 体的な取り組み を、個別計画とし て策定しました。

)第2次スポーツ推進計画 令和3~8年度

基本理念

スポーツを通じて

スポーツで心がふれあう都市あつぎ ~スポーツ王国を目指して~

基本目標

1 みんなで楽しめるスポーツ活動の推進 2スポーツ活動を支える仕組みづくり 3スポーツ活動を広げる環境づくり

週スポーツ推進課☎225-2531

▶イチオシ政策



小。中学校の働き方改革

教職員の時間外勤務を「月45時間・年360時間以内」と する目標を達成するため、令和3~5年度を計画期間とし

た「厚木市立小・中学校の働き方改革アクショ

ンプラン」を策定しました。教職員が子ども

たちと向き合う時間を確保し、自信とゆとり



を持って指導に当たれるよう、小・中学校に 依頼する事務などの整理、支援員の配置、校 務支援システムの活用、学校閉庁日の拡大、 人的支援で教職員の負担を軽減 教職員の意識改革などを推進します。



少人数学級制の実施

公立小学校における1学級35人以下の学級編制を 令和7年度までに段階的に導入することを、国が決定 しました。市では、平成23年度から独自に国の基準



市では既に小学校3年まで実施の向上につなげています。

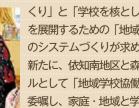
を超えて小学校3年生まで少人数学級を 実施しています。中学校でも、各校の実 態に応じて少人数学級を編制するため、 非常勤講師を配置。一人一人の状況に応 じたきめ細かな指導や、落ち着いた学習 環境づくりに取り組み、学習意欲や学力



地域学校協働活動の推進

誰もが安心して学び、自分の力を発揮 できる環境づくりの推進

60年ぶりに教育基本法が改正され、家庭・地域と 学校の在り方が「支援」から「協働」へと変わる、 🕒 大きな改革が進行中です。「地域とともにある学校づ



くり」と「学校を核とした地域づくり」 を展開するための「地域学校協働活動」 のシステムづくりが求められています。 新たに、依知南地区と森の里地区をモデ ルとして「地域学校協働活動推進員」を 委嘱し、家庭・地域と学校の協働による 地域住民による机・椅子の高さ調整 教育活動や地域づくりの研究を進めます。

みらいの種

授業の様子を視察

曾田

CEC END

日直

地域を支えた女性たち」



結成から参加し、平成29年から代表を務める神谷さん

女性の生きた足跡を後世へ

さがみ女性史研究会「さねさし」代表神谷智子さん(72)

化賞を受賞し、私たちの活動が認め を掘り起こし、愛甲郡の女子青年団 武相の若草』、 行。5年がかりで『横浜貿易新報』 11年には第14 会報16号を発行しています。 寄稿している方のご子孫から 『あつぎの女性―愛甲郡女 昨年10月には、 みと聞き書き―』 回日本自費出版文 などの資料 その生きた 1999年 機関誌に

生きることが大切ではないでしょう 目線になりがちだった歴史を女性 みがえらせられたときには、 やご縁をもとにお話を伺 してどう生きていくの 歴史は過去から現在への 々を一生懸命に自分らしく か 人の人間と が問われて これ つつなが

うな文章で表現するように心掛けて りと信頼関係を築きながら話を引き 人柄がにじみ出 大きな L



がみ女性史研究会「さねさし

現在は4人で活動。「さねさし」の由来は、

発会20周年の記念書籍を 寄付していただきました

「あつぎの女性ー愛甲 郡女子青年団のあゆみ と聞き書き一」100冊 の寄付をいただき、教 育委員会として教育長 感謝状を贈呈しました。 【閲覧場所】中央図書

館、小・中学校



館、公民館、郷土博物 小林市長と曽田教育長に 書籍を寄付

●文化財保護課☎225-2509

モヤシは、豆類が発芽した野 菜なので、ビタミンやミネラルが 豊富。シャキシャキとした食感も 楽しめる一品です。

材料 (4人分)

- モヤシ…150g コマツナ…100g
- ●塩(コマツナ塩ゆで用) …少々 ●ハム(1枚20g)…
- 2枚程度 ●ごま油…小さじ1 ●酢…小さじ1/2
- ●砂糖…小さじ1 ●しょうゆ…大さじ1 ●白いりごま …小さじ1/2

- ①モヤシをゆでて冷ます。コマツナは塩ゆでし、水にさ らして絞り3掌幅程度に切る。ハムは千切りにする。
- ②ごま油・酢・砂糖・しょうゆを混ぜておく。
- 32にコマツナ、モヤシ、ハムを加えあえる。
- 4最後に白いりごまを加え混ぜる。

人気の給食レシピを市ホームページに掲載

ひと口』メモ

巻末には活

地域の皆さんに伝えていきたいと思

簡単でおいしい

モヤシは、若い芽がぐ んぐんと「萌え出る」 様子から名付けられた 野菜です。平安時代 には、薬草として栽培 され、次第に庶民の 味として親しまれるよう になりました。

厚木市 給食レシピ 検索を

数字で見るあつぎの教育 これって何の数字



令和2年度の街頭指導で、 青少年に声を掛けた延べ 人数です。

青少年の非行の未然防止と早期発見 につなげるため、青少年相談員と青少 年教育相談センターの社会教育指導員 2人、夜間専門指導員2人が、昼夜を 問わず街頭指導をしています。飲酒や 喫煙、徘徊などの不良行為が行われや すい公園や繁華街を中心にパトロール し、青少年に積極的に声掛けをしてい ます。近年は、スマートフォンなど携 帯電話の普及により、青少年の行動場 所が屋外から屋内へと移る傾向が見ら れ、生活の実態が見えづらくなってい ます。



和やかな会話で青少年に声掛け

そのような中でも、市街地の公園や 商業施設等には、市内だけではなく、 市外から来る青少年も多数います。青 少年のささいな変化を見逃さないため に、繰り返し声を掛け、実態把握と情 報収集に取り組んでいます。

声掛けで大切にしていることは、落 ち着きのある丁寧な話し方をするこ と。まずはより良い関係を築くことを 心掛けています。今後も、青少年たち の小さな変化を見逃さず、根気強く街 頭指導に取り組んでいきます。

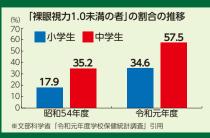
見子のための

大切な目を保護するために

近年、子どもの視力低下が進んでい ることを知っていますか。今年度から1 人1台の学習用端末の活用が始まるた め、目への負担が増すことが懸念されま す。今回は、目を守るためのポイントを 確認しましょう。

視力の悪化が止まらない

文部科学省の調査で「裸眼視力1.0未 満」の子どもの割合が過去最高を記録し ました。家の中でゲームや携帯電話など を近距離で見る状況が増え、目の酷使に つながっていることが原因と考えられます。



■ドライアイに注意

目の潤いを保つ役割がある涙が蒸発 しやすくなる状態がドライアイ。端末な どを集中して見続けると、まばたきが 減って目が乾燥し、視力が低下する恐れ があります。

【涙の主な効力】

角膜(黒目)に酸素を与える、乾燥させ ないよう保湿する、ゴミを洗い流す 【日頃からできるケア】

意識してまばたきをする、エアコンなどの風 に直接当たらない、目を温めて血行を良くす る、ビタミン・ミネラルを含む食事を取る

■学校で端末を使う際のポイント

長時間の連続した使用を避けることが 大切です。画面を見続けない、同じ姿勢 を取り続けないようにし、休み時間には、 席を離れて体を動かしましょう。



学校、家庭、子どもの発達…—人で悩まないで! **子どもの相談は 全 221-8080**